

「学びを 続けてもらう」ための『学生支援緊急給付金』の 創設

背景・課題

- 新型コロナウイルス感染症が 広がったことで、家族の収入が 大きく減ったり、アルバイトの収入が 大きく減る・やめるなど 学生生活の お金の面への 影響が出てきました。
- お金に困っている 学生などには、今年4月から 始まった 高等教育を受けるための 新しい制度や 貸す形の 奨学金で 家計の状況が 急に変わったことへの 対応や 大学などへの 授業料の支払いの 延期などで 対応しています。また、各大学には 負担を減らすための 対策を取れるように 支援をしています。
- 一方で、新型コロナウイルス感染症が 広がったことで、さらに状況が悪くなり、特に 家族から 離れて 暮らしている 学生などが、大学などを やめることも 考えられるので、対応を 早めに考える 必要がある。

➡ 将来の 社会経済の 基礎を 作ってもらえるように「学びを 続けてもらう」ため、必要な「学生支援緊急給付金」を 創ります

事業の 簡単なまとめ

○事業の ポイント

- 特に 家族から 離れて 暮らしている 学生などが、新型コロナウイルス感染症の影響で アルバイトに行くことが 減ったり・やめさせられたりして 突然 収入が減ったことで「学びを 続ける」ことが できなくなるかもしれない状況から、早く お金が届くように スピードを 一番に考えた 制度をつくる
- 上のような学生への 経済環境の 急な変化への 対策と 新型コロナウイルス感染症の影響が 長くなることも 考えて「学びを 続けてもらう」ための これまでの支援策と 協力する

◇ 対象になる学生：国公立大学(大学院含む)・短大・高専・専門学校 ※留学生を含む
(日本語学校なども含む)

家族から 離れて 暮らしていて、アルバイトの収入で 学費などを 払っている 学生などで、今回の 新型コロナウイルス感染症が 広がったことで アルバイトの収入が 大きく減って、大学などで 学ぶことが 難しくなっている人

◇ あげる金額：住民税を 払っていない 世帯の学生 20万円
上以外の学生 10万円

事業の まとめ

